

SK2、激しい接戦を制しての優勝獲得となった渡辺。1年ぶりのレースとなるためブランクを感じたというのだが、傍目からはまったく分からない素晴らしい走りを見せてくれた



SK1 表彰式。小野間の独走優勝



SK2 表彰式。復帰した渡辺が勝利



SK4 表彰式。ハプニングに屈しなかった桜井

WAKO'S スーパーカートカップ第5戦

開催コース/筑波サーキット（茨城県）
主催/日本スーパーカート協会
開催日/8月2日 天候/雨
路面状況/ウェット

ワコーズスーパーカートカップシリーズ第5戦は筑波サーキットへと戻ってきた。また、地域シリーズの筑波シリーズ第3戦とのダブルタイトルにもなっている。

前戦では珍しく激しい雨が降るレーンレースとなったが、打って変わって今回は炎天下でのレースとなり、コンディショナルにはカートもドライバーも少々、キツイ感じだ。

さて、注目はSK2クラス。ここに約1年ぶりに渡辺浩之が復帰してきたのだ。渡辺といえば2014年に藤木章二とタイトルを争った実力の持ち主だけに、優勝争いに必ず食い込んでくるはず。その予想どおり、ブランクを一切感じさせない走りで見事に接戦を制し、文句なしの内容で復帰戦を優勝で飾った。



▲ SK1 クラスは小野間悦久が独走状態で勝利を獲得。予選で発生したトラブルも、昨年のデータを解析することでクリアし、決勝ではなかなか独走に持ち込むことが難しい筑波戦を完璧な走りで見事に制した。これで前戦に引き続き連勝となり、シリーズポイントでもトップの大王吉野義弘との差を縮めることに成功した

▼ SK4 クラスは桜井晋吾が総合順位でも上位に食い込む勢いを見せての優勝。途中、タイヤのグリッド面が剥離するトラブルに見舞われたことで普通ならリタイヤでもおかしくない状態に陥ったが、卓越したテクニックと、それまで築いたマージンを駆使しての勝利となった

